



小中一貫校 南アルプス市立



白根飯野小学校 学校だより

令和6年1月30日 文責 河住悦久

○本年もよろしくお願ひいたします。

2024年を迎えました。本年も子供たちの健やかな成長をめざして職員一同、心を一つにして頑張っています。皆様の本年も変わらぬ本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

厳しい寒さが続いています。霜柱の庭に立つ梅の木に目を向けると、春の訪れを知らせる梅の花がつぼみを膨らませているのが見られるようになりました。梅の花言葉は、「忠実」「高潔」「忍耐」です。「忠実」は有名な菅原道真の主人を慕って京都から太宰府（福岡県）まで飛んで行った飛梅の伝説からつけられたそうです。「高潔」と「忍耐」の花言葉は、梅の花が咲く時期からつけられました。冬の厳しい寒さに耐えて力を蓄え、まだ冬の寒さが残る時期に芽吹き、冷たい風が吹いている中で咲き誇る梅の花の姿はまさに「高潔」「忍耐」という言葉ふさわしいと感じます。

3学期は短く、約50日、6年生は卒業式を控えていますのでそれよりも少ない40数日となります。3学期は学年のまとめの学期ですが、次の学年のための0学期ともいわれ、どの学年も進学や進級に向けての準備を行っていく大切な期間となります。子供たちには、自分の目標をもう一度思いだし、今の学年の学習などにやり残しがないように、健康に気を付けながら、希望を胸に努力して行ってほしいと思います。努力を重ね、成功を導く姿は、厳しい寒さに耐えて咲き誇る梅の花に似ていると思います。梅の花の花言葉「高潔」「忍耐」を心に留め3月の卒業式や進級に向けて努力を重ね、目標が達成できたという成功を手にしてほしいと願っています。



令和6年も白根飯野小学校のすべての子供たちが自分の成長を実感でき、実りある素晴らしい一年になるよう頑張っています。本年もよろしくお願いいたします。

○大谷選手のグローブが届きました。

報道等で全国的に話題となりましたが、野球のアメリカメジャーリーグで活躍される大谷選手から本校にもグローブ3つが寄贈されました。このグローブには大谷選手から次のようなメッセージが添えられていました。（一部省略してあります。）

『この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。この3つの野球のグローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。・・・ 野球しようぜ。』



本校でも早速、使い方の約束を決め、1年生から6年生の各クラスを1日ごとに順番にグローブとボール（柔らかめ）を貸出して、休み時間などに使い始めました。

大谷選手については、現在の活躍も大変なものですが、学生時代に目標達成シートを作り、野球の技術だけでなく、あいさつや礼儀等人間性を高めることに努力していたことでも有名です。

今年度も私から年度のはじめの全校集会の中でこの目標達成シートのことについて全校の子供たちに伝えてあります。そして校長室の前の壁には、この1年、大谷選手の目標達成シートを掲示してきました。子供たちには、大谷選手のグローブで野球を楽しんでもらうと同時に、大谷選手の夢をかなえるために努力する生き方も大いに参考にしてもらいたいと願っています。



○授業参観・学年部会へのご参加よろしくお願いたします。

先日通知をいたしました。2月2日、8日、19日と3日に分けて、各学年の授業参観、学年部会を開催いたします。本年度最後の授業参観と今年度のまとめの学年部会となります。御多用の折とは存じますが、子供たちのこの一年の学校での成長の様子をご覧ください。

2月 2日 (金) 1年生、2年生、3年生

2月 8日 (木) 4年生、5年生

2月19日 (月) 6年生

どの学年も 授業参観は5校時(午後1時55分から午後2時40分)、学年部会は授業参観後に行う予定です。授業の内容により会場が体育館の学年もあります。詳しくは1月24日付の通知をご確認ください。よろしくお願いたします。



○5年生「ドローン教室」

昨年末ですが、12月18日(月)に外部講師をお招きし、昨年に引き続き、5年生の子供たちが「ドローン教室」に参加しました。体育館に並べられた様々なドローンの実物をみながら、実際にドローンを使った操縦体験をしたり、プログラミングの学習をしたり、ドローン等の有効活用についてのお話を聞いたりして、楽しみながら最先端の科学技術に触れることができました。私たちの暮らしを豊かにするために技術開発に努力する技術者の皆さんのお話しや科学技術の平和利用についてのお話などに子供たちは真剣に耳を傾けていました。

